

デジタルアースの構築と利用

—Geo-Informaticsからのアプローチ—

教授 **福井 弘道**
FUKUI Hiromichi



中部高等学術研究所



情報化社会の本質は、サイバースペースにおける意志決定が、リアルワールドに先導的な役割を果たすことにあります。デジタルアースとは、サイバースペース上に構築される俯瞰型情報基盤、多次元・多解像度で表現された地球であり、持続可能な地球の将来を考えるために、環境・災害等の「問題複合体」を解題する共同実験室、コミュニケーションのプラットフォームとして利用されることが期待されています。デジタルアースを用いて、地域から地球の変動を分析・解明し、現象のモデリングやシミュレーションを行い、合意形成、計画立案や政策形成に展開する方法論の探求とその社会的な実装、制度設計を行う研究領域、Geo-Informaticsを研究しています。

【研究テーマ】

- リアルタイムセンシングデータの相互運用、統合、俯瞰システムの開発（衛星・航空機・UAVの利用、ビッグデータ解析、センサーウェブの実装など）
- リスク事象にともなう不確実性の評価と可視化に関する研究
- 地域の減災、防災、リスク・危機管理システムに関する研究
- 地域における地球温暖化の適応策に関する研究
- 自治体の統合型GISの構築と利用に関する研究
- リスク・環境・科学コミュニケーション手法に関する研究
- 国際災害支援情報基地構想に関する研究

キーワード

環境情報システム、地理情報システム、空間解析

相談に応じられる内容

統合型GIS、ビッグデータ解析、環境アセスメント・環境計画、防災・危機管理計画、リスクコミュニケーション、合意形成手法に係ることなど